

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 りふスポーツフェア開催費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ交流係

電話番号：058-272-1111 (内 2948)

E-mail： c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,000 千円 (前年度予算額：12,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,000	0	0	0	0	0	0	0	12,000
要求額	12,000	0	0	0	0	0	0	0	12,000
決定額	12,000	0	0	0	0	0	0	0	12,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県は「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」後のスポーツ推進スローガンを『「スポーツ立県・ぎふ」の実現』とし、競技スポーツや地域スポーツの推進、スポーツによる地域振興に取り組んでいる。本スポーツフェアは、県民の誰もが気軽に、スポーツを「する」「観る」「支える」活動に参加するための機会を提供する重要なイベントと位置付け、今後も実施していく予定である。

(2) 事業内容

プロ野球の公式戦やJ3のリーグ戦を始め、高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン、カンガルーカップ国際女子オープンテニス等、魅力的な約50のイベントを実施していく。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県では、「スポーツ立県・ぎふ」の実現のため、競技スポーツや地域スポーツの推進、スポーツによる地域振興を積極的に進めており、スポーツフェアを春の一大イベントとして定着してきている。県での費用負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	12,000	スポーツフェア実行委員会への負担金
合計	12,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ振興条例第9条
清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 事業主体及びその妥当性

ぎふスポーツフェア実行委員会へ負担金を拠出
(構成団体：岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜県スポーツ協会、
岐阜県レクリエーション協会 他)

事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
県民が興味を持って、見たり応援したり参加できるイベントを数多く提供し、スポーツ実施率の向上を目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
スポーツ実施率	(H)	47.6% (H29)	48.6% (H30)	43.7% (R1)	65.0% (R3)	67.2%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - 令和元年 11 月 第 1 回実行委員会総会
 - 令和 2 年 2 月 第 1 回常任委員会
 - 令和 2 年 3 月 第 2 回常任委員会
 - 令和 2 年 3 月 臨時総会
 - 平成 2 年 4 月 12 日～令和 2 年 8 月 31 日 スポーツフェア開催
 - 令和 2 年 11 月 第 2 回実行委員会総会

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
新型コロナウイルス感染症に伴い、国際的・全国的レベルの選手による競技会は中止となったものの、開催により県民のスポーツに携わる機会を提供したことで、県民のスポーツへの関心を継続する意味において、本県のスポーツ振興とりわけ競技力の向上に寄与することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	全国レベルの選手が競技大会に参加することによって、本県選手の競技力向上及びスポーツの振興につながっており、ぎふ清流国体の成功を一過性にしないためにも、県民のスポーツへの関心を継続する意味において、スポーツフェアの開催は必要である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	「スポーツ王国・ぎふ」づくりを積極的に推進するために 1989 年に開催して以来、令和 2 年度で 32 回を数え、また来場者数は、年々伸びてきており、県民の中にも春の一大スポーツイベントとして位置づいてきている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	実行委員会形式をとっており、岐阜県、岐阜県教育委員会、岐阜市、岐阜市教育委員会を始め、各スポーツ団体から構成され、適切な運営が図られていると考える。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 カンガルーカップ国際女子オープンテニスは、県内における唯一の国際大会である。平成 22 年度は会場の長良川テニスプラザの 17 面がハードコートに改修され世界基準の会場となり、まさしく世界につながる大会として位置づくものになった。今後も(株)西濃運輸がオフィシャルスポンサーを継続するよう、観客の動員も含め、魅力ある大会にしていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか。 企業協賛は現状の企業にとどまらず、新規開拓をして、この大会をより一層充実した内容にし開催していく必要がある、トップアスリートを真近に見ることができるイベントとしてより充実させていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—